

令和4年度

教育委員会事務事業の点検・評価報告書  
(対象:令和3年度事業)

令和4年10月  
田布施町教育委員会

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和3年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

## 2 点検及び評価の実施について

### (1) 対象事業

令和3年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「令和3年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

### (2) 評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

### (評価委員)

高橋 邦子	元田布施町教育委員
田中 恵美子	元田布施町立小学校長
木村 正嗣	元中学校長

### (評価基準)

A	目的に対し、順調に事業が達成できた。
B	事業の進め方等に改善の検討はあるものの、概ね(8割程度)目的を達成できた。
C	目的の一部(5割程度)は達成できたが、事業の改善が必要である。
D	事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討が必要である。

## 3 点検及び評価の結果について

別紙のとおり

事業の点検・評価一覧表

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
1	教育委員会運営事業	706	A	学校教育課
2	スクールバス運行事業	9,355	A	
3	小学校管理事業	19,853	A	
4	小学校教育振興事業	2,229	B	
5	中学校管理事業	96,157	A	
6	中学校教育振興事業	2,387	B	
7	保健関係事業	3,758	A	
8	就学援助事業	9,068	A	
9	教員補助者設置事業	6,647	A	
10	幼児教育推進事業	—	A	
11	生徒指導推進事業	1,483	B	
12	学力向上推進事業	8,205	B	
13	体力向上推進事業	—	B	
14	特別支援教育推進事業	—	B	
15	キャリア教育推進事業	—	B	
16	コミュニティ・スクール(CS)推進事業	250	A	
17	学校給食センター運営事業	70,621	A	

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
18	生きがい教室開催事業	187	A	社会教育課
19	学校・家庭・地域連携協力推進事業	3,395	A	
20	成人式開催事業	286	A	
21	人権教育推進事業	442	B	
22	青少年の健全育成事業	600	B	
23	地域公民館まつり開催事業	—	B	
24	公民館運営事業	22,822	B	
25	公民館施設管理事業	15,445	B	
26	図書館管理運営事業	15,734	A	
27	郷土館管理運営事業	8,127	B	
28	埋蔵文化財調査事業	33,709	B	
29	町史編修事業	1,655	C	
30	スポーツ推進体制強化事業	501	B	
31	生涯スポーツ推進事業	2,109	B	
32	我がまちスポーツ推進事業	—	A	
33	スポーツセンター管理運営事業	20,912	B	

事業の点検評価票(学校教育)

No.1

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教育委員会運営事業		
事業の概要	教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議及び協議会:5回</li> <li>・総合教育会議開催:2回</li> <li>・教育委員学校訪問:6月29日、9月28日、9月30日、10月7日、10月15日 (小学校4校、中学校1校訪問)</li> <li>・教育委員研修会等 柳井地域教育委員等研修会:11月19日(柳井市) ※山口県市町教育委員会委員研修会等その他の研修は中止</li> <li>・その他教育関係行事への出席 (運動会等については、コロナ禍のため不参加) 委員報酬[690,800円]、評価委員報酬[15,000円]</li> </ul>		
事業の経費	706千円		
事業の成果と課題	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。また、総合教育会議を年2回開催し、コロナ禍での各学校の現状や施設整備について町長部局との連携を図った。		
評価	A	コロナの影響下にもかかわらず、大局的な視点から指導支援が密に行われていた。定期的に各学校の実態を把握し、教育委員会、町長部局と情報共有しながら、連携を図られていることは評価できる。	

No.2

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課									
事業の名称	スクールバス運行事業											
事業の概要	学校の統廃合等により、遠距離通学となる児童生徒の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス3台及びタクシーの運行を交通業者に委託											
事業の実績	<p>対象児童生徒の登下校及び総合的な学習の時間や中学校部活動に利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻郷小学校 1台 (対象人数: 18人)</li> <li>・田布施西小学校 1台 (対象人数: 5人)</li> <li>・東田布施小学校、田布施中学校 1台 (対象人数: 4人)</li> <li>・校外学習(37回)、部活動利用(32回)</li> <li>・運行委託料 <u>7,719,345円</u></li> <li>・修繕料 <u>467,001円</u></li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">内訳</th> <th>R3 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車検</td> <td></td> <td>346,441</td> </tr> <tr> <td>タイヤ交換</td> <td></td> <td>120,560</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品 <u>82,907円</u></li> <li>・燃料代 <u>948,576円</u></li> <li>・保険料 <u>37,890円</u></li> <li>・車検に係る手数料 <u>25,500円</u></li> <li>・重量税 <u>73,800円</u></li> </ul>			内訳		R3 (円)	車検		346,441	タイヤ交換		120,560
内訳		R3 (円)										
車検		346,441										
タイヤ交換		120,560										
事業の経費	9,355千円											



事業の成果と課題	児童の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。 昨年度工事(理科室)に引き続き、田布施西小学校図工室特別教室の壁、上部及び梁の仕上げ材の劣化による剥離改修を行い、一連の工事が終了した。 昨年に続き、新型コロナウイルス感染症対策による学校支援を行った。	
評価	A	児童生徒に安全性と有意義な学校環境を確保できている。 校舎の老朽化に伴い、修繕改修場所が増えている。 安全な教育環境維持のため計画的に順次対応していただきたい。

No.4

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																				
事業の名称	小学校教育振興事業																						
事業の概要	児童、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金																						
事業の実績	・総合的な学習における講師謝金 <u>5千円</u> ・バス・渡船借り上げ料 <u>247千円</u> (陸上記録会、総合的な学習) ・学校用備品 <u>1,393千円</u> 理科振興備品	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>R3 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東田布施小 記録温度計・鉄製スタンド</td> <td>140,800</td> </tr> <tr> <td>城南小学校 算数・数学設備 (かるい方眼黒板)</td> <td>18,150</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>158,950</td> </tr> </tbody> </table>		内 訳	R3 (円)	東田布施小 記録温度計・鉄製スタンド	140,800	城南小学校 算数・数学設備 (かるい方眼黒板)	18,150	合 計	158,950												
	内 訳	R3 (円)																					
	東田布施小 記録温度計・鉄製スタンド	140,800																					
	城南小学校 算数・数学設備 (かるい方眼黒板)	18,150																					
	合 計	158,950																					
	教材備品 461,340 円 図書購入費 773,196 円																						
	・各種負担金、補助金 <u>584千円</u>																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>R3 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員研修</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>県郡校長会</td> <td>128,800</td> </tr> <tr> <td>県郡教頭会</td> <td>112,500</td> </tr> <tr> <td>県郡教育研究会</td> <td>57,000</td> </tr> <tr> <td>小学体育連盟</td> <td>4,490</td> </tr> <tr> <td>養護教諭研修会</td> <td>16,000</td> </tr> <tr> <td>事務職員会</td> <td>16,000</td> </tr> <tr> <td>修学旅行</td> <td>99,210</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>584,000</td> </tr> </tbody> </table>		内 訳	R3 (円)	教職員研修	150,000	県郡校長会	128,800	県郡教頭会	112,500	県郡教育研究会	57,000	小学体育連盟	4,490	養護教諭研修会	16,000	事務職員会	16,000	修学旅行	99,210	合 計	584,000
	内 訳	R3 (円)																					
	教職員研修	150,000																					
県郡校長会	128,800																						
県郡教頭会	112,500																						
県郡教育研究会	57,000																						
小学体育連盟	4,490																						
養護教諭研修会	16,000																						
事務職員会	16,000																						
修学旅行	99,210																						
合 計	584,000																						
事業の経費	2,229 千円																						
事業の成果と課題	毎年、「学校図書館図書標準」に基づき、図書蔵書の充実を進めている。 昨年度はICT関連備品の充実に努めたが、本年度教材備品は、理科振興備品整備事業も活用し、計画的に備品等の整備・充実を行った。																						
評価	B	図書の充実がまだ不十分である。 児童が日常的に良書に出会えるよう学校図書の充実に努めていただきたい。																					

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																				
事 業 の 名 称	中学校管理事業																						
事 業 の 概 要	所管する中学校の施設の維持管理及び学校設備等の整備を行う。																						
事 業 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 <span style="float: right;">5,103 千円</span></li> <li>・学校再開支援(ハンドソープ泡ディスペンサー他) <span style="float: right;">610 千円</span></li> <li>・修繕費 <span style="float: right;">1,292 千円</span></li> <li>・点検管理業務等の委託8件 <span style="float: right;">4,448 千円</span></li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内 訳</th> <th style="text-align: center;">R3 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防設備点検</td> <td style="text-align: right;">434,500</td> </tr> <tr> <td>電気保安管理</td> <td style="text-align: right;">241,560</td> </tr> <tr> <td>清掃業務</td> <td style="text-align: right;">972,108</td> </tr> <tr> <td>プールろ過器保守</td> <td style="text-align: right;">35,200</td> </tr> <tr> <td>貯水槽清掃</td> <td style="text-align: right;">122,430</td> </tr> <tr> <td>樹木剪定委託</td> <td style="text-align: right;">394,200</td> </tr> <tr> <td>ビル管理</td> <td style="text-align: right;">2,221,000</td> </tr> <tr> <td>シンクシステム保守</td> <td style="text-align: right;">27,500</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">4,448,498</td> </tr> </tbody> </table>		内 訳	R3 (円)	消防設備点検	434,500	電気保安管理	241,560	清掃業務	972,108	プールろ過器保守	35,200	貯水槽清掃	122,430	樹木剪定委託	394,200	ビル管理	2,221,000	シンクシステム保守	27,500	合 計	4,448,498
	内 訳	R3 (円)																					
	消防設備点検	434,500																					
	電気保安管理	241,560																					
	清掃業務	972,108																					
	プールろ過器保守	35,200																					
	貯水槽清掃	122,430																					
	樹木剪定委託	394,200																					
	ビル管理	2,221,000																					
	シンクシステム保守	27,500																					
	合 計	4,448,498																					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計監理業務委託料 <span style="float: right;">6,655 千円</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校校昇降機等整備工事設計監理業務委託 <span style="float: right;">5,060,000 円</span></li> <li>中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事設計監理業務委託 <span style="float: right;">1,595,000 円</span></li> </ul>																					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事費 <span style="float: right;">77,452 千円</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校校昇降機等整備工事(建築工事) <span style="float: right;">49,280,000 円</span></li> <li>中学校校昇降機等整備工事(電気設備) <span style="float: right;">4,455,000 円</span></li> <li>中学校校昇降機等整備工事(機械設備) <span style="float: right;">3,378,100 円</span></li> <li>中学校校昇降機等整備工事(付帯設備) <span style="float: right;">198,000 円</span></li> <li>中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事 <span style="float: right;">14,663,000 円</span></li> <li>中学校防火シャッター改修工事 <span style="float: right;">5,478,000 円</span></li> </ul>																					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校用備品 <span style="float: right;">597 千円</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般備品 <span style="float: right;">23,100 円</span></li> <li>学校再開支援</li> </ul>																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内 訳</th> <th style="text-align: center;">R3 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サーマルカメラ 4 台</td> <td style="text-align: right;">508,200</td> </tr> <tr> <td>CO2 モニター 1 台</td> <td style="text-align: right;">66,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">574,200</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	R3 (円)	サーマルカメラ 4 台	508,200	CO2 モニター 1 台	66,000	合 計	574,200													
内 訳	R3 (円)																						
サーマルカメラ 4 台	508,200																						
CO2 モニター 1 台	66,000																						
合 計	574,200																						
事 業 の 経 費	96, 157 千円																						



事業の成果と課題	<p>生徒の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。</p> <p>学校のバリアフリー対策を進める中で、歩行困難な子どもが各階へ移動することが非常に大変で、その対策が望まれていた。しかし、大規模な工事を伴う高額な改修費用となるため対策が進まなかった。令和4年度に歩行困難な子どもの入学予定があること、新たに国の補助が充実されたこと等により、長い間の懸案であった昇降機等による対策工事を行った。</p> <p>田布施中学校屋内運動場(アリーナ)の非構造部材耐震工事が完了した。田布施町学校施設は、耐震化・非構造部材耐震化と両方共、耐震化率100%達成となった。</p> <p>去年につづき、新型コロナウイルス感染症対策による学校支援を行った。</p>	
評価	A	昇降機(エレベータ)が設置されてバリアフリー化が進んだことは大変評価できる

## No.6

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																										
事業の名称	中学校教育振興事業																												
事業の概要	生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金																												
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習における講師謝金 <u>18千円</u></li> <li>・教材備品 <u>184千円</u></li> <li>・理科振興備品 <u>151千円</u></li> <li>・図書購入費 <u>498千円</u></li> <li>・部活動備品 <u>88千円</u></li> <li>・各種負担金、補助金 <u>1,448千円</u></li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>R3 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>事務職員研修会</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>養護教諭研修会</td><td>4,000</td></tr> <tr><td>県郡校長会</td><td>34,000</td></tr> <tr><td>県郡教頭会</td><td>22,500</td></tr> <tr><td>県郡教育研究会</td><td>43,500</td></tr> <tr><td>中学体育連盟</td><td>258,620</td></tr> <tr><td>中学文化連盟</td><td>38,600</td></tr> <tr><td>修学旅行</td><td>34,852</td></tr> <tr><td>部活動指導</td><td>360,000</td></tr> <tr><td>県大会出場助成</td><td>500,000</td></tr> <tr><td>教職員研修会</td><td>144,000</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>1,448,072</td></tr> </tbody> </table>			内 訳	R3 (円)	事務職員研修会	8,000	養護教諭研修会	4,000	県郡校長会	34,000	県郡教頭会	22,500	県郡教育研究会	43,500	中学体育連盟	258,620	中学文化連盟	38,600	修学旅行	34,852	部活動指導	360,000	県大会出場助成	500,000	教職員研修会	144,000	合 計	1,448,072
内 訳	R3 (円)																												
事務職員研修会	8,000																												
養護教諭研修会	4,000																												
県郡校長会	34,000																												
県郡教頭会	22,500																												
県郡教育研究会	43,500																												
中学体育連盟	258,620																												
中学文化連盟	38,600																												
修学旅行	34,852																												
部活動指導	360,000																												
県大会出場助成	500,000																												
教職員研修会	144,000																												
合 計	1,448,072																												
事業の経費	2,387千円																												
事業の成果と課題	<p>毎年、「学校図書館図書標準」に基づき、図書蔵書の充実を進めている。</p> <p>昨年度はICT関連備品の充実に努めたが、本年度教材備品は、理科振興備品整備事業も活用し、計画的に備品等の整備・充実を行った。</p> <p>部活動備品については、部活動に支障が起きないように、年次的、計画的に更新をしていく。</p>																												
評価	B	学校用備品は学校の実情に応じて計画的に整備することを望む。特に学校図書の充実には努めてほしい。																											

## No.7

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	保健関係事業		
事業の概要	学校保健法に基づく小中学校児童生徒や教職員の各種の検診等		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員健康診断(基本検診) 541,240 円</li> <li>・教職員健康診断(胃検診) 328,818 円</li> <li>・教職員健康診断(結核検診) 213,411 円</li> <li>・児童生徒心臓検診 677,600 円 (小1、小4、中1)</li> <li>・就学時健康診断 534,600 円</li> <li>・児童生徒健康管理 1,463,050 円</li> </ul>		
事業の経費	3,758 千円		
事業の成果と課題	<p>コロナ禍が長引き、学校行事等制限が続いている。学校医やスクールソーシャルワーカー等専門機関と連携し、児童生徒や教職員の疲労の積み重なりによる心身における健康維持に取り組んでいる。教職員については、ストレスチェックの結果に応じて、本人が希望する場合は面接指導の対応が出来るよう学校医と委託契約を締結し体制を整えた。</p>		
評価	A	<p>危機管理体制作りを行っており、評価できる。 教職員が健康で職務に専念できるよう、再検査の早期受診やメンタル面での支援について引き続き指導助言に努めていただきたい。</p>	

## No.8

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	就学援助事業		
事業の概要	経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>学用品費等 65 人 [1,255 千円]</li> <li>医療費 0 人 [ 0 千円]</li> <li>給食費 65 人 [2,883 千円]</li> <li>新入学準備金 6 人 [ 306 千円]</li> </ul> </li> <li>・中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>学用品費等 45 人 [1,656 千円]</li> <li>医療費 0 人 [ 0 千円]</li> <li>給食費 49 人 [2,548 千円]</li> <li>新入学準備金 7 人 [ 420 千円]</li> </ul> </li> </ul>		
事業の経費	9,068 千円		
事業の成果と課題	<p>学校教育法第 19 条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して充実した支援を行った。平成 29 年より、新入学児童生徒に入学準備金を 3 月に支給し、より充実した援助となるよう努めている。継続して新入学予定者及び全児童・生徒に案内文を送付し、制度の周知徹底を図る。</p>		
評価	A	<p>支援の必要な保護者にとって少しでも安心して子育てができるよう、援助できていることは評価できる。必要な児童生徒に対してこういったことがあるということを知らせるということができている。</p>	

## No.9

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教員補助者設置事業		
事業の概要	特別な教育的支援を必要とする児童の、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置校及び人数</li> <li>麻郷小学校 2名      田布施西小学校 2名</li> <li>東田布施小学校 2名      城南小学校 2名</li> <li style="text-align: right;">計 8名</li> </ul>		
事業の経費	6,647千円		
事業の成果と課題	特別な配慮を要する児童を指導する教員の補助として、各小学校に2名ずつ配置し、学習支援や生活支援、日常生活活動動作の介助等に従事している。配慮の必要な児童が増え、障害の状態も多様化していることから、増員や時間延長等も視野に入れ、教員の負担軽減に繋げていく。		
評価	A	支援を必要とする児童に有効だけでなく、教員の負担軽減にもなり、来年も継続してしっかりした対応をしていただきたい。	

## No.10

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	幼児教育推進事業		
事業の概要	幼児期の教育の重要性を再認識し、幼児一人ひとりの個性を尊重するとともに、社会生活における望ましい習慣や態度を育成する。また、幼児教育の質の向上を図り、幼児期から連続性・一貫性のある教育の充実に努める。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小中連携会議(年1回)と幼保小連絡協議会(年2回)の開催</li> <li>・5歳児発達相談会での就学に関する相談、助言</li> <li>・就学時健康診断の実施</li> <li>・保健師と連携した就学に係る幼保園訪問</li> <li>・小中教員による保幼園訪問の開催</li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>成果としては、幼保園を小中学校教員が訪問することにより基本的な生活習慣の現状把握ができていたり、共同実践を実施できていること、小学校からの給食指導等を意識した指導を幼保園から同一歩調で行っていることがある。また、幼保小中連携会議をCS・地域協育ネット合同研修会に統合し、田布施町の教育のあり方について共通認識した。園児から児童生徒まで、「田布施町で育つ三つの美しい心」についての実践を継続して行った。</p> <p>課題は、園と小中学校の行事の交流にとどまらず、資質・能力をつなぐカリキュラムの編成・実施にまで至っていないことである。</p>		
評価	A	小中学校生活でスムーズに適用するための情報の共有や目標を設定。就学への助言が充実した学校生活に繋がっている。	



## No.12

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	学力向上推進事業		
事業の概要	学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県派遣指導主事人件費 <u>8,205 千円</u></li> <li>・指導主事の学校訪問による指導、支援</li> <li>・校内研修(研究授業)への指導・助言</li> <li>・授業改善、学力向上のための情報共有と指導・助言</li> <li>・町学力向上担当者会議(年3回)の開催による「全国学力・学習状況調査」及び「山口県学力定着状況確認問題」への対応</li> <li>・「田布施町成長診断テスト」の実施及び指導による学力、成長の保証</li> </ul>		
事業の経費	8,205 千円		
事業の成果と課題	<p>全国学力・学習状況調査及び山口県学力調査における町内児童生徒の平均正答率は全国や県平均を上回っているが、学校によって差が大きいのが現状として生じている。今後は、学力向上推進リーダーによる授業参観や指導助言により、さらなる教員の授業力や児童生徒の学力向上につなげると同時に、近年若手教員が増加していることから、人材育成に重点を置き、ユニット型研修の推進による教職員の授業改善を進めるなど、持続的な研修体制を構築していくことが大切である。</p> <p>また、令和3年度より授業におけるICTの活用が本格化し、ICT支援員を活用した研修職員会を実施したり、個別にアドバイスを求めたりするなど、教員が積極的にICTを活用した授業を実施した。今後は、ICT活用の有用性を検証しながら、児童生徒が、主体的・対話的で深い学びにつながる授業をめざしていきたい。</p>		
評価	B	若手教員の増加に伴い、ユニット型研修や学力向上推進リーダーによる指導助言や授業力向上や人材育成を引き続き進めていただきたい。学校間格差等、様々な課題に今後取り組みが必要。	

## No.13

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	体力向上推進事業		
事 業 の 概 要	体育の授業や町の体育的行事等を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。		
事 業 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導</li> <li>・町内小学校陸上記録会へ小学5,6年が参加</li> <li>・体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言</li> </ul>		
事 業 の 経 費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>町内小学校陸上記録会は縮小しての実施、町水泳記録会、町内一周駅伝は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。各学校で「体力向上プログラム」を作成し、始業前や業間体育、放課後等を利用して体力向上に取り組むよう指導している。その結果、中学校では柔軟性の記録が大幅に伸びたことから、県を通じてスポーツ庁から視察の申し入れがあった。(コロナ禍による影響で実現しなかった)</p> <p>今後も、取組を維持していくとともに、全県的な体力面での課題である投力に重点をおいた指導の工夫や、日常的な運動習慣化の工夫が必要と思われる。</p>		
評 価	B	<p>コロナ禍という状況を踏まえ、従来とは異なる効果的な方策を探っていく工夫が必要である。課題と捉え検討していただき、今後の取組に活かしてもらいたい。</p>	

## No.14

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	特別支援教育推進事業		
事業の概要	児童生徒一人ひとりの障害の状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教育支援委員会の開催</li> <li>・町校内コーディネーター研修会の開催(柳井地域で合同開催)</li> <li>・幼保小中連携会議(年1回)、幼保小連絡協議会(年2回)の開催</li> <li>・就学に係る幼・保園訪問、相談会の実施</li> <li>・就学時健康診断の実施と結果の通知</li> <li>・田布施総合支援学校や地域コーディネーターとの連携</li> <li>・各学校における特別支援学級等設置状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>麻郷小学校 : 自閉症・情緒障害、知的障害、通級指導教室</li> <li>田布施西小学校: 自閉症・情緒障害、知的障害、言語障害、通級指導教室</li> <li>東田布施小学校: 自閉症・情緒障害、知的障害</li> <li>城南小学校 : 自閉症・情緒障害、知的障害</li> <li>田布施中学校 : 自閉症・情緒障害、知的障害、病弱学級、通級指導教室</li> </ul> </li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>保健センターと情報の共有や連携を強化するため、5歳児発達相談に参加し、できるだけ早い段階での就学に向けた相談や、関係機関との連携を図ることにより、適切な就学につながっている。</p> <p>また、「身体に関する結果通知」に加え、「知的発達検査の結果」についても通知するように改善し、就学前の相談体制の構築に努めた。</p> <p>課題としては、小学校への適切な就学に向けた相談支援である。また、各学校の校内コーディネーターの役割の重要性や学校全体で行われるべき個々の児童・生徒に適した指導や支援の方法等についての研修機会を増やす必要がある。</p>		
評価	B	学校と家庭が5歳児の発達相談や保幼小の連携により、課題の共有など早い段階で相談できる体制が整っている。充実した学校生活に繋がっているため、引き続き進めていただきたい。	

## No.15

施策名	ふるさと就労に向けた高校・大学との連携	担当課	学校教育課
事業の名称	キャリア教育推進事業		
事業の概要	社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導</li> <li>・1/2成人式、志教育の奨励</li> <li>・社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言</li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>キャリア教育においては、職場訪問、職場体験が感染症拡大で中止になったが、社会見学や色々な職業の方の講話を聞いたり、進学する学校について調べたりする等、効果的に実施されている。小学校では1/2成人式が全校で実施され、中学校では、立志のつどいや栄光の旗頭彰式が行われている。</p> <p>上記2つの事業については、「自分がしたいこと」「自分にできること」「社会が求めていること」の3つの視点で計画立案し、実施することが重要であり、今後は、保護者や地域と連携し、上記の事業等を通じて、地元の良さをさらに気付かせる必要がある。</p>		
評価	B	コロナ禍により、職場体験ができなかった。その代替りとなる企業が学校に出向く出前職場体験などを検討してほしい。	

## No. 16

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課		
事業の名称	コミュニティ・スクール(CS)推進事業				
事業の概要	コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりをめざし、学校を中心に世代を超えた新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学校支援や子どもの育成に努める。				
事業の実績	<p>[麻郷小 4回] [田布施西小 4回] [東田布施小 4回] [城南小 4回] [田布施中 5回]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>学校運営協議会</td> <td>50,000円×5校=250,000円</td> </tr> </table>			学校運営協議会	50,000円×5校=250,000円
学校運営協議会	50,000円×5校=250,000円				
事業の経費	250 千円				
事業の成果と課題	<p>コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校運営も進み、異校種や家庭・地域とのつながりもできてきた。その中で児童生徒も参加する熟議を行い、コミュニティ・スクールで目指す児童生徒の姿について共有し各校の実情に応じて取り組んでいる。また、幼保小中連携会議をCS・地域協育ネット合同研修会に統合し、園児から高等学校の生徒までの田布施町の教育のあり方について共通認識して実践に取り組んでいる。</p> <p>今後は、地域連携教育に関わる仕組みを見直しながら、地域協育ネットの更なる活性化を図り、学校・地域連携カリキュラムの活用・改善をするなど、学校運営協議会の運営の充実を図りたい。</p>				
評価	A	地域の方々が連携できている。熟議に児童生徒が参加した。幼保小中連携会議を統合したコミュニティ・スクールが年々充実してきていることは評価できる。			



## No.17

施 策 名	学校給食センターの効率的な運用	担当課	給食センター
事 業 の 名 称	学校給食センター運営事業		
事 業 の 概 要	<p>成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、安全で美味しくバランスのとれた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。</p> <p>また、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、「食べること」をとおして自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。</p> <p>児童生徒が生涯にわたり健康で過ごすために、自己管理能力を身に付け、多様で個性豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。</p>		
事 業 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食対象校 小中学校 5校</li> <li>・年間給食回数 198日</li> <li>・年間給食 214,973食</li> <li>・給食費収入額 56,949,010円</li> <li>・米飯 週4回 パン 週1回</li> <li>・地場産週間(年3回)における地場産食材使用状況 年間平均 83.9%</li> <li>・管理栄養教諭による、小学校への学校給食巡回訪問 4回</li> </ul>		
事 業 の 経 費	70,621千円		
事 業 の 成 果 と 課 題	<p>調理業務等の民間事業者委託を8月1日から開始した。事業者と栄養教諭が連携を密にとり、円滑な移行を実施している。</p> <p>食中毒の発生や異物混入防止のため食材の点検、調理場の清掃、職員の定期的な細菌検査等衛生管理を継続して徹底する。</p> <p>就学時に児童が安心して学校給食を食べることができるよう、町内6園の年長園児を対象にした給食試食会を予定していたが、コロナ禍により中止となった。</p> <p>老朽化した各種調理機器、備品等を計画的に更新していく。</p> <p>食事内容が安全で栄養的に優れ、児童生徒にとって魅力的であるように、献立・調理の質的充実・向上に努めており、給食残食率が低下している。今後もこの取組を継続していく。</p>		
評 価	A	民間事業者委託も円滑に進んでおり、安全で美味しい給食が提供できている。	

事業の点検評価票(社会教育)

No.18

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	生きがい教室開催事業		
事業の概要	60歳以上の高齢者が、いろいろな分野の講師、指導者の講座により学習し、地域の人や子どもとのふれあいを深めることにより、高齢者の生きがいづくりを図っている。各地域の公民館と連携・協力し教室生を募り、講座の計画・立案等を行い、定期的(月1回程度)に生きがい教室を開催する。(講座運営費 年 1,500 円を徴収)		
事業の実績	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しつつ充実した講座になるよう努めたが、公民館施設の部屋ごとの利用人数制限により、活動の制約を受けた。</p> <p>【修了証書授与者】 城南公民館 25 人、西田布施公民館 40 人、東田布施公民館 42 人、麻郷公民館 26 人、麻里府公民館 30 人 <u>合計 163 人</u> (経費内訳: 講師謝金、消耗品費等)</p>		
事業の経費	187 千円		
事業の成果と課題	各地域の公民館生きがい教室とも、30人から50人程度の参加があり、教室生が主体的に事業運営に取り組んでいる。内容は、防災・防犯、健康に関することなど多岐にわたり、各公民館で高齢者の生きがいづくり、生涯学習の場として特色ある取組活動がされている。		
評価	A	講座内容の充実に努め、引き続き、高齢者の方が積極的に人と関わり学ぶ取り組みを継続していただきたい。	

No.19

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業		
事業の概要	安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと子どもと地域の交流の場づくりを推進するため、放課後子ども教室事業の企画・運営を支援する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室(9 教室) 「東田布施小学校 PTCA」、「西の寺子屋」、「城南こころ教室」、「麻郷小成器塾」、「たぶせキッズ教室」、「たぶせ少年少女発明クラブ」、「たぶせ少年少女合唱団」、「たぶせ天体教室」、「田布施中学校放課後学習会」を開講 * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を休止した期間あり。(8/11～9/26,1/17～2/20) たぶせ天体教室の備品(111,100 円)を購入した。</li> <li>・CS・地域協育ネット合同研修会(2 回) 中央公民館にて夏期研修会(7 月 27 日) 西田布施公民館にて事例発表(2 月 28 日)</li> <li>・地域協育ネット研修会(地域の力・心パワーアップ研修会) 中央公民館 (3 月 7 日)</li> <li>・地域活動 小中学校で消毒ボランティア活動を実施した 各公民館と各小学校との地域学校協働活動として花の苗の移植作業を実施した。(コロナウィルスの影響で、1 小学校・1 公民館での実施)</li> <li>・家庭教育支援推進事業</li> </ul>		

	児童支援、子育て支援講座(わくわくすいはんきクッキング・柳井市を中心に活動している「ごはんを多幸会」と協力して実施) のぼり旗やチームエプロンの作成による啓発活動 ・オープンスクール事業(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」 地域協育ネット推進事業(2/3 補助、補助額 1,833 千円) (経費内訳: 賃金、講師謝金、消耗品費、通信運搬費、備品購入費等)	
事業の経費	3,395 千円	
事業の成果と課題	各地域の放課後子ども教室の指導者・支援員が熱心に関わって指導している。また、地域の方と子どもたちが同じ活動に取り組むことを通して、共感的理解を促し、教育的効果はもとより、地域の活性化にも大きく寄与している。 また、学習支援ボランティアバンクを活用し、小・中学校からの応援要請に応じて、登録者が日常の授業等に入り、サポートするなどの支援活動に努めている。 統括コーディネーター1名を配置し、地域と学校の連携・協働を推進している。 家庭支援事業において、啓発活動にも力をいれ、各家庭等とつながりがもてるように新たな支援講座や啓発活動にも力をいれ、事業の推進に努めている。	
評価	A	放課後子ども教室など活動内容が充実しており、地域の方々から学ぶ良い機会になっている。引き続き、新しい支援講座などで、子どもたちへの教育効果を発揮していただきたい。

No.20

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	成人式開催事業		
事業の概要	新成人の自主運営による成人式を開催する。 対象者は、平成13年4月2日から平成14年4月1日までの出生者。		
事業の実績	・成人式行事 令和4年1月9日13時から田布施中学校アリーナで開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月30日に延期した。 対象者 160人 (R2 138人) 出席者 一人 (R2 一人) (経費内訳: 賞賜金、役務費、消耗品費、委託料、印刷製本費等)		
事業の経費	286 千円		
事業の成果と課題	8月より毎月1回程度、新成人による実行委員会を開催し、新成人が自主的に、記念式典、茶話会などの内容・運営方法を協議して、充実した内容の成人式を計画している。		
評価	A	新成人が自主的に企画運営して開催することは良いことであり、コロナ禍であっても、検討しながら実施していただきたい。	

## No.21

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	人権教育推進事業		
事業の概要	<p>田布施町人権教育推進協議会が中心となって、人権学習講座、人権教育推進大会等を開催する。また、町広報への掲載などの活動により、啓蒙啓発に努め、町ぐるみの人権学習を推進する。</p>		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育講座開設事業  人権学習講座(西田布施公民館、参加者 延 125 人)  10月 7日「人権について」  長迫 晃先生</li> <li>10月 14日「感染症と人権問題  ～過去の事例と新型コロナウイルス感染症の今について考える～」  家入 裕子先生</li> <li>10月 21日「高齢者と人権 ～守り方・守られ方～」  田中 マキ子先生</li> <li>・人権教育推進大会(西田布施公民館、参加者 約 80 人)  11月 27日「子どもと大人が笑顔ですごくために  ～ペアレント・トレーニングを参考に～」  いわかね社会福祉士事務所 代表 岩金 俊充 先生</li> </ul> <p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限をして実施した。  県事業「市町人権教育促進事業」  人権教育講座開設事業(1/2 補助、補助額 130 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報紙面に「私たちと人権」を掲載(年 6 回)  (経費内訳: 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等)</li> </ul>		
事業の経費	442 千円		
事業の成果と課題	<p>人権学習講座は、テーマを取り上げ参加者の人権意識の高揚に取り組んでいる。また、人権教育推進大会は、夏休み中に児童生徒の詩・啓発標語・ポスターを募集し、大会において優秀作品の発表・表彰及び記念講演を行い、小学生から大人まで幅広い年代層に人権意識の高揚を図っており、人権教育の推進に寄与している。また、講座内容において、講師選定や人権課題等に偏りがなく、幅広いテーマと向き合えるように努めている。</p> <p>また、出席者は社会教育部長、自治会関係者、民生児童委員、教職員、婦人会など特定団体の人に限られる傾向が見られるが、毎年役員等の交代もあり、広く町民への周知、啓発に努めている。</p>		
評価	B	<p>課題としては、出席者が社会教育部長、自治会関係者、民生児童委員、教職員、婦人会など特定団体の人に限られる。より多くの町民の参加が得られるよう、PTAや各種講座等での呼びかけをしていただきたい。また、講師についても、幅広い分野から選定するよう努めてほしい。</p>	

## No.22

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	青少年の健全育成事業		
事業の概要	青少年健全育成町民会議と連携し、「家庭充実の日」運動の普及、家庭教育に関する学習機会や相談体制の充実を図り、家庭教育力の向上を目指していく。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田布施町青少年健全育成町民会議 機関紙の発行、標語等の立看板の管理、中学生の交通安全反射ベスト購入補助、小学生や保育園児・幼稚園児へのあいさつバッジ配付、カヌー教室・青少年健全育成作文集の発行などを実施した。なお、町民会議総会・夜間街頭補導活動は、新型コロナウイルスの影響で実施することが出来なかった。</li> <li>・家庭教育支援推進事業 幼児・児童・生徒及び保護者を対象にきめ細やかな支援を行う家庭教育支援員8名が家庭教育の向上を図ることを目的に活動している。 すべての保護者の方が安心して子育てができるよう、「家庭教育支援チーム」を中心に地域の様々な活動を支援。</li> <li>・オープンスクール事業 次年度小学校へ入学する年長園児と保護者を対象に学校見学、授業見学、給食試食会等を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 ※家庭教育支援推進事業、オープンスクール事業は県の学校・家庭・地域連携協力推進事業の対象事業。</li> </ul>		
事業の経費	600千円(経費内訳:補助金※町民会議への補助金)		
事業の成果と課題	家庭教育支援推進事業として、子育てにおける悩みや不安を抱えている保護者を対象とした「家庭教育支援チーム」を8名で組織し、児童支援、子育て支援活動をとおして、青少年健全育成に寄与した。		
評価	B	青少年健全育成町民会議の事業は、着実に再開できている。オープンスクール事業は子どもたちだけでなく、保護者の不安解消にも繋がる。今後は実施できるよう図りたい。	

## No.23

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課																
事業の名称	地域公民館まつり開催事業																		
事業の概要	10月から11月の時期に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり、文化祭、文化展を開催する。																		
事業の実績	<p>○開催状況 すべての公民館まつり及び文化展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>時期</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田布施町文化展(中央公)</td> <td rowspan="6">中止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>城南公民館まつり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>麻郷公民館まつり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>麻里府文化展</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西田布施文化祭</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東田布施公民館まつり</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(経費内訳:補助金 ※田布施町文化展は文化協会への補助金)</p>			区分	時期	参加者数	田布施町文化展(中央公)	中止		城南公民館まつり		麻郷公民館まつり		麻里府文化展		西田布施文化祭		東田布施公民館まつり	
区分	時期	参加者数																	
田布施町文化展(中央公)	中止																		
城南公民館まつり																			
麻郷公民館まつり																			
麻里府文化展																			
西田布施文化祭																			
東田布施公民館まつり																			

事業の経費	0千円	
事業の成果と課題	<p>これまで各公民館において地域住民の協力で開催してきた。出展者等には生涯学習の成果を発表する機会を与え、参加者には多様な芸術文化に親しむ機会となっている。毎年、多数の協力者が参加し、地域住民のふれあいの場となり、地域の活性化に貢献している。</p> <p>課題としては、高齢化が進む中で、若い後継者が育っていない状況にあり、また、令和3年度の公民館まつり・文化展も縮小になったことから、今後再開した際の、協力者の確保に課題がある。</p>	
評価	B	地域性を活かし、すべての事業を継続するという強い信念を持ち続け取り組んでいただきたい。

No.24

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課																					
事業の名称	公民館運営事業																							
事業の概要	公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。																							
事業の実績	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館 生涯学習芸能発表会(9月)、文化展(10月)</li> <li>・城南公民館 ホタルまつり(5月)、盆踊り大会(8月)、体育大会(9月)</li> <li>・西田布施公民館 球技大会(9月)、ふれあい桜まつり(3月)</li> <li>・東田布施公民館 球技大会(5月)、コスモスまつり(10月)、</li> <li>・麻郷公民館 スポーツ大会(4月)、盆踊り大会(8月)</li> <li>・麻里府公民館 盆踊り大会(8月)</li> </ul> <p>公民館利用状況 ( )R2年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用延件数</th> <th>利用延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央公民館</td> <td>390件(427件)</td> <td>4,410人(4,668人)</td> </tr> <tr> <td>城南公民館</td> <td>284件(322件)</td> <td>3,593人(3,568人)</td> </tr> <tr> <td>西田布施公民館</td> <td>626件(1,022件)</td> <td>16,041人(10,503人)</td> </tr> <tr> <td>東田布施公民館</td> <td>463件(615件)</td> <td>5,241人(6,716人)</td> </tr> <tr> <td>麻郷公民館</td> <td>417件(416件)</td> <td>3,822人(4,357人)</td> </tr> <tr> <td>麻里府公民館</td> <td>185件(189件)</td> <td>2,560人(1,698人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>公民館使用料合計 837千円(R2 947千円)</p> <p>* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5/11から5/31、8/11から9/26、1/17から2/20まで貸館中止 (経費内訳) 公民館運営委員報償、館長・主事賃金、消耗品、役務費、複写機使用料等</p>			施設名	利用延件数	利用延人数	中央公民館	390件(427件)	4,410人(4,668人)	城南公民館	284件(322件)	3,593人(3,568人)	西田布施公民館	626件(1,022件)	16,041人(10,503人)	東田布施公民館	463件(615件)	5,241人(6,716人)	麻郷公民館	417件(416件)	3,822人(4,357人)	麻里府公民館	185件(189件)	2,560人(1,698人)
施設名	利用延件数	利用延人数																						
中央公民館	390件(427件)	4,410人(4,668人)																						
城南公民館	284件(322件)	3,593人(3,568人)																						
西田布施公民館	626件(1,022件)	16,041人(10,503人)																						
東田布施公民館	463件(615件)	5,241人(6,716人)																						
麻郷公民館	417件(416件)	3,822人(4,357人)																						
麻里府公民館	185件(189件)	2,560人(1,698人)																						
事業の経費	22,822千円																							

事業の成果と課題	<p>各公民館において、地域の拠点として行事・活動を積極的に行っており、地域の連携を深めている。公民館の運営については、適切に運営され、生涯学習の推進に貢献している。また、地域住民の参加による施設の環境整備や花苗・花壇管理を行っており、地域の交流の場としての活動を広めている。利用者数の減少は新型コロナウイルス感染拡大防止のため貸館業務の停止、部屋ごとの利用人数の制限をしたためである。</p> <p>麻里府公民館は、小学校の廃校に伴い地域の子どもたちとの関わりが希薄になっており、地域との連携を深める活動に努めている。</p> <p>各館とも講座などの利用者が減少しているため、公民館講座利用者について、使用料の半額免除制度を導入している。</p>	
評価	B	公民館機能は生涯学習に貢献するものであり、それを推進するために引き続き適切に運営されたい。

No.25

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課																																				
事業の名称	公民館施設管理事業																																						
事業の概要	各公民館施設の維持管理を行う。																																						
事業の実績	<p>・施設</p> <table border="1"> <tr> <td>中央公民館</td> <td>S43年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>967.67 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>城南公民館</td> <td>S56年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>610.61 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>西田布施公民館</td> <td>S61年建築</td> <td>RC造平屋建</td> <td>1,079.09 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>東田布施公民館</td> <td>S62年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>613.93 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>麻郷公民館</td> <td>S55年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>613.68 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>麻里府公民館</td> <td>S52年建築</td> <td>RC造平屋建</td> <td>360.85 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>竹尾分館</td> <td>S63年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>176.37 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>国木分館</td> <td>H元年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>237.99 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>小行司分館</td> <td>H6年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>199.93 m<sup>2</sup></td> </tr> </table> <p>・耐震診断、耐震化工事実施状況  中央・城南・麻郷・麻里府公民館(S56年5月以前建築)耐震診断実施(H22)診断の結果、中央・城南・麻郷公民館は耐震無し、麻里府公民館は耐震有城南、麻郷公民館は耐震補強工事完了(H23)  (経費内訳)  光熱水費、電話料、保険料、保守点検管理委託料、下水道使用料、修繕料等</p>			中央公民館	S43年建築	RC造2階建	967.67 m <sup>2</sup>	城南公民館	S56年建築	RC造2階建	610.61 m <sup>2</sup>	西田布施公民館	S61年建築	RC造平屋建	1,079.09 m <sup>2</sup>	東田布施公民館	S62年建築	RC造2階建	613.93 m <sup>2</sup>	麻郷公民館	S55年建築	RC造2階建	613.68 m <sup>2</sup>	麻里府公民館	S52年建築	RC造平屋建	360.85 m <sup>2</sup>	竹尾分館	S63年建築	木造平屋建	176.37 m <sup>2</sup>	国木分館	H元年建築	木造平屋建	237.99 m <sup>2</sup>	小行司分館	H6年建築	木造平屋建	199.93 m <sup>2</sup>
中央公民館	S43年建築	RC造2階建	967.67 m <sup>2</sup>																																				
城南公民館	S56年建築	RC造2階建	610.61 m <sup>2</sup>																																				
西田布施公民館	S61年建築	RC造平屋建	1,079.09 m <sup>2</sup>																																				
東田布施公民館	S62年建築	RC造2階建	613.93 m <sup>2</sup>																																				
麻郷公民館	S55年建築	RC造2階建	613.68 m <sup>2</sup>																																				
麻里府公民館	S52年建築	RC造平屋建	360.85 m <sup>2</sup>																																				
竹尾分館	S63年建築	木造平屋建	176.37 m <sup>2</sup>																																				
国木分館	H元年建築	木造平屋建	237.99 m <sup>2</sup>																																				
小行司分館	H6年建築	木造平屋建	199.93 m <sup>2</sup>																																				
事業の経費	15,445千円																																						
事業の成果と課題	<p>施設管理業務は、各公民館職員により適正に管理されている。</p> <p>中央公民館は、令和4年6月から取り壊しが決定しており、その後、保健センターとして整備される予定になっている。また、麻里府公民館は令和6年度に新築、令和7年度移転の予定になっている。</p> <p>他の公民館についても、施設の老朽化が進んでいるため、公共施設個別施設計画に基づき施設の長寿命化改修工事の予定となっている。</p>																																						
評価	B	各公民館の老朽化は重大な問題であり、施設の計画的な修繕を図られたい。																																					

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	図書館管理運営事業		
事業の概要	田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、移動図書等による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動により読書活動の普及・啓発を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>購入冊数 1,604 冊(R2 1,673 冊)</li> <li>蔵書冊数 94,794 冊(R2 93,795 冊)</li> <li>貸出冊数 81,157 冊(R2 69,249 冊)</li> <li>登録者数 15,811 人(R2 15,566 人)</li> <li>利用者数 28,102 人(R2 24,837 人)</li> </ul> </li> <li>・移動図書 8 箇所を巡回 4,128 人(利用者数) 7,451 冊(貸出冊数)</li> <li>・読書感想文コンクール 10 月 27 日～11 月 9 日 応募作品 827 点</li> <li>・読書貯金通帳 通帳の配布(4 月 1 日～)</li> <li>・第 29 回図書館まつり 中止</li> <li>・第 41 回感想文コンクール表彰式 2 月 19 日 表彰者 24 名</li> <li>・第 6 回読書貯金通帳グレートリーダー表彰式 2 月 19 日 表彰者 13 名</li> <li>・クリスマス会 12 月 25 日「おはなしの会」主催 63 人(参加者数) 平成 4 年度～</li> <li>・ボランティア「おはなしの会」5 回開催 延 121 人(参加者数)</li> <li>・読書会「七草」4 回開催 延 24 人(参加者数)</li> <li>・朗読ボランティア「もやいの会」26 回開催 延 107 人(参加者数)</li> <li>・点訳ボランティア「ほおずきの会」21 回開催 延 107 人(参加者数)</li> <li>・ブックスタート事業「ブックスタートパック」を贈呈 66 人(4ヶ月乳児) 平成 15 年度～</li> <li>・セカンドブック事業「絵本とかるた」を贈呈 89 人(3 歳児) 令和 2 年度～</li> <li>(施設)・田布施図書館 H3 年建築 RC 造 2 階建 855.23 m<sup>2</sup></li> <li>(施設整備事業)・屋上防水改修工事 935 千円</li> </ul>		
事業の経費	15,734 千円		
事業の成果と課題	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための閉館は行わなかったが、一部利用に制限をかけ開館した期間があった。そのため、講座室の利用ができないので、イベント等の中止を行った。利用実績は、利用者数、貸出冊数ともに、昨年度より増加した。</p> <p>子どもの読書活動については、子ども読書活動推進計画に基づき、家庭、地域、学校等の社会全体で計画的に推進していく。読書貯金通帳事業、読書感想文コンクール事業では、子どもの読書活動を行う意欲を高めるため優秀者に対し表彰を行った。今後も引き続き良書の確保と、資料の収集・整理に努める必要がある。</p> <p>施設管理では屋上防水改修工事を行ったが、全体の三分の一程度なので、残りの部分や老朽化した部分の補修・点検が必要である。</p>		
評 価	A	テーマを設けた展示やボランティアグループの活動など、読書活動への普及に引き続き努めていただきたい。	



施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	郷土館管理運営事業		
事業の概要	岸信介・佐藤榮作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、文化の向上を図る。		
事業の実績	<p>【郷土館利用状況】</p> <p>入館者数 425 人(R2 557 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山口埋蔵物巡回展 令和3年7月10日～8月15日(11日より休館) 来場 76 人</li> <li>○国木田独歩生誕 150 年記念展示 令和3年10月1日～令和3年11月30日 来場 160 人</li> <li>○国木田独歩ゆかりの地めぐり歩こう会 (麻里府～麻郷)10月31日 20 人</li> <li>○国木田独歩ゆかりの地めぐり歩こう会 (郷土館周辺) 11月14日 23 人</li> <li>○城南公民館 生きがい教室 ー城南の成り立ち 令和3年10月21日 来場 28 人</li> <li>○東田布施公民館 生きがい教室 ー田布施町郷土館の紹介 ー昔の田布施と波野 令和3年11月14日 来場 25 人</li> <li>○長合ファミリーサロン ー古代から現代までの田布施町- 田布施の成り立ちと長合 令和3年11月7日 来場 23 人</li> <li>○小学校 児童向け講話「昔の生活」 麻郷小学校3年生 令和4年3月1日 20 人 城南小学校3年生 令和4年3月22日 11 人</li> <li>○麻郷小学校 4年生向け講話「岸・佐藤兄弟宰相」 令和3年12月3日 20 人</li> <li>○麻郷小学校 6年生向け講話「国木田独歩生誕 150 周年」 令和3年10月22日 25 人</li> <li>○麻郷小学校 6年生向け国木田独歩関連史跡の現地案内 令和3年10月29日 23 人</li> </ul> <p>(施設) 田布施町郷土館 RC造2階建 748.00 m<sup>2</sup> 土地 1,209.00 m<sup>2</sup> NTT-APより賃借(旧電話交換所事務棟) 賃借料 2,090 千円</p>		
事業の経費	8,127 千円		
事業の成果と課題	岸、佐藤兄弟宰相の企画展や埋蔵文化財の巡回展等を積極的に企画し、郷土の歴史・文化の研究・紹介などに努めているが、長引くコロナ禍の影響もあり入館者数が年々減少している。今年度も、臨時休館の影響などもあり、来館者数は減少した。建物内の湿度が高く、この対応のため、除湿器を多く稼働しているが、これについても早急に保管・保存のための対応が必要となる。		
評 価	B	移動郷土館として郷土の文化歴史を学ぶ機会を設定されており評価できる。施設の管理面での改善を図りたい。	

## No.28

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	埋蔵文化財調査事業		
事業の概要	国営緊急農地再編整備事業に伴う発掘調査を行う。 周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等処理する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南周防農地整備事業に伴う国庫委託事業 吉井団地発掘調査事業(その2) 27,415 千円</li> <li>・単独事業 発掘調査関連事業 6,294 千円</li> </ul>		
事業の経費	33,709 千円		
事業の成果と課題	国営緊急農地再編整備事業の計画については、南周防農地整備事業所から委託を受け、田布施町内で2遺跡(堂ヶ迫遺跡、辻花遺跡)の発掘調査を行った。馬場遺跡の報告書の刊行を行った。今後未刊行の報告書について鋭意取り組む必要が有る。		
評 価	B	圃場整備事業に関して、埋蔵文化センターの協力も得ながら、スケジュール等適切に対応し、未刊行の報告書について取り組まれない。	

## No.29

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	町史編修事業		
事業の概要	田布施町史の編修を行う。 令和3年度から令和6年度の4ヵ年で田布施町の平成史を刊行する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田布施町史平成版編修業務 638 千円(4ヵ年合計 15,290,000 円)</li> <li>・人件費・事務費など 1,017 千円</li> </ul>		
事業の経費	1,655 千円		
事業の成果と課題	町史編修事業は初回資料の収集が済んでいる。 現状では必要と思われる資料の収集が進んでいない。更に執筆者の交代などやむを得ない事情から、細目次案などの提案がなされていない状態である。 当初の予定より遅れが出ており、現在この遅れを考慮し、事業の進行スケジュールを見直しながら実施している。 今後遅れが出ないように注意して取り組む必要が有る。		
評 価	C	町史の編集が変更スケジュールどおりに進むよう、進捗状況を確認しながら進めてもらいたい。	

## No.30

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツ推進体制強化事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、関係団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図る。また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成に努める。		
事業の実績	○スポーツ推進委員 ・町スポーツ推進委員会（スポーツ推進委員 11名） 3回開催[4月、9月、3月] ・中国地区スポーツ推進委員研修会(鳥取県)中止 ・スポーツ推進委員研修会 オンライン開催(6月5日、6日) ・スポーツイベント(※)への指導及び協力。 ※桜まつりロードレース大会、スポーツまつり、町内一周駅伝、ウォーキング大会		
事業の経費	501千円		
事業の成果と課題	新型コロナウイルスの影響で、研修やスポーツイベントが中止となった事により、スポーツ活動の普及啓発をする機会や、対面での研修の機会が失われ、成果も限定的なものとなった。 今後は、感染防止対策を講じた上で、スポーツ活動の普及啓発を図り、また、指導者等の人材育成についても進めていけるよう、方法を見直す必要がある。		
評価	B	スポーツ推進委員の人材育成について、若者の活用を促すことができるよう取り組んでいただきたい。	

## No.31

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	生涯スポーツ推進事業		
事業の概要	全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、ひとりスポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し、健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。		
事業の実績	・総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」（町補助金 420千円） クラブ員数 13団体 322人(R2 337人) 会員親睦交流大会 7月3日 約300人(参加者数) ・田布施町スポーツ少年団（町補助金 350千円） 団員数 11団体、176人(R2 184人) 結団式 4月29日(木) 中止 町スポ少専門部会 第1回 中止、第2回 書面決議 県スポ少ジュニアリーダーズスクール(光市) 中止 県スポ少指導者・育成母集団研修会(柳井市) 中止 ・田布施体育協会(町補助金 650千円) 会員数 14団体、約600人 町内一周駅伝競走大会 12月12日(日)中止 ・たぶせスポーツまつり実行委員会 たぶせスポーツまつり 10月10日(日)中止		
事業の経費	2,109千円		

事業の成果と課題	<p>各団体とも自主的に運営を行うとともに、イベント等での協力を通じて地域スポーツの活性化に貢献している。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、多くのイベントが中止となったことにより、事業を運営する人材やスキルが失われつつある。できるだけ早い時期に、感染防止を図りながら、スポーツイベントを再開する方法を検討する必要がある。</p> <p>また、円滑にイベントを実施できるよう、運営手順の確認・整理を行うとともに関係団体と緊密に連携を図る必要がある。</p>	
評価	B	生涯スポーツのまち田布施の実現に向け、各イベント開催方法を見直しながら、中高生のボランティアなども視野に入れ、実施できるよう取り組んでいただきたい。

No.32

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	我がまちスポーツ推進事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組として、ウォーキングの普及を図る。		
事業の実績	<p>・実施主体 総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」</p> <p>ウォーキング大会 11月27日 約97人(R2 約90人)</p> <p>魅力再発見ウォーキング 年28回実施(R2 年22回)</p>		
事業の経費	— 千円 (田布施スポーツクラブと連携)		
事業の成果と課題	<p>スポーツを通じて地域交流を促進し活性化を図るため、令和元年度改定の「田布施町スポーツ推進計画」において、ウォーキングを「我がまちスポーツ」と位置付け事業の推進に取り組んでいる。</p> <p>具体的には、ウォーキングマップを配布し、“ウォーキング大会”、“魅力再発見ウォーキング”を実施している。</p> <p>今後さらに健康増進を図っていくため、魅力的な新コースの開拓および学校との連携と周知をはかり、ウォーキングを実施する人を増やしていく必要がある。</p>		
評価	A	企画運営が十分になされている。引き続きウォーキングの普及に努めていただきたい。	

施 策 名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課		
事業の名称	スポーツセンター管理運営事業				
事業の概要	施設を安全・快適に利用できるよう、円滑に管理・運営を行う。				
事業の実績	・施設利用状況 (単位:人、円)				
		令和3年度		令和2年度	
		利用人員	使用料	利用人員	使用料
	プール	1,138	50,930	1,401	50,670
	第1体育館	10,643	362,830	11,553	409,320
	艇庫	0	0	10	0
	第2体育館	16,174	679,900	17,683	764,050
	町民グラウンド	10,387	222,700	8,596	324,210
	弓道場	3,425	192,065	2,770	147,165
	テニス場	1,790	217,020	2,443	324,880
合 計	43,557	1,725,445	44,456	2,020,295	
事業の実績	(施設) (単位:㎡) (単位:㎡)				
	施設名	建築(更新)年	構造	面積	
	第1体育館	S57年建築	S造平屋建	728.50	
	第2体育館	S58年建築	S造平屋建	1,221.00	
	プール上屋	H26年更新	S造平屋建	914.64	
	〃 更衣室	S57年建築	RC造平屋建	118.83	
	弓道場	S62年建築	木造平屋建	295.64	
	艇庫	S58年建築	S造平屋建	447.00	
	グラウンドナイター設備	R3年更新	8基	(グラウンド 16,358)	
	事業の経費	20,912千円			
事業の成果と課題	・新型コロナウイルスの影響は大きく、わずかに持ち直しの兆候は見られる。しかし、施設の利用人数、利用金額共に、コロナ以前の令和元年度の状態には戻っていない。 ・第1体育館については、老朽化が進んでおり雨漏りも多く、全面的な大規模改修も視野に入れて検討して行く必要がある。また、麻里府の艇庫についても老朽化による腐食が進んでいることもあり、年次的に整備を進めていく必要がある。				
評 価	B	施設の安全・快適な利用のため、施設の整備計画に沿って進めていただきたい。			

#### 4 今後の取組について

教育委員会においては、令和3年度までの事業の成果と課題を踏まえつつ、「第6次田布施町総合計画」及び「田布施町教育振興基本計画」に基づき、田布施町の教育の充実に努めてまいります。

とりわけ、学校教育にあつては、複雑で予測困難なこれからの時代を生き抜いていく子どもたちが、夢や志をもち、多様な人々と協働して、豊かな人生を切り拓いていく力を育むことができるよう学校教育の充実に努めてまいります。

また、社会教育においては、町民一人ひとりが生きがいをもち、活力ある地域社会を築いていけるよう、生涯にわたる学びを支援する環境づくりに努めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働した教育の拡充に努めてまいります。